

# 香川大学

## 教育実践総合研究

第48号 2024年

### ◆研究論文・実践報告

- |   |    |  |
|---|----|--|
| 藤本雅也・鈴木正行                                       | 1  | ケイパビリティの視点からヤングケアラー問題に迫る中学校公民学習の授業開発<br>—「誰一人取り残さない」社会に向けて—                |
| 川田英之  | 15 | 羅生門的アプローチによる対話を通じた教育実習生の指導観の変容   |
| 谷口弓恵  | 27 | 教員にできる「働き方改革」の実践と理念<br>—小学校での取り組みを事例に—                                     |
| 藤元恭子・眞崎雅子<br>大橋奈希左                              | 37 | 運動遊び支援における場面理解<br>—実習経験者の観察記録から—   |
| 森川芳彦・西浦修平<br>松下圭輔・圖子美由紀<br>多田守・西田智子<br>青山夕夏・坂井聡 | 45 | 知的特別支援学校小学部における姿勢・バランスの向上が日常生活動作に及ぼす影響について<br>—作業療法士との協働によるサーキット運動の指導を通して— |
| 宮本耕作・宮前淳子                                       | 53 | PK（ペナルティキック）の成功に関連する要因の検討<br>—ボールを蹴るまでの時間の長さとのセルフトークに注目して—                 |
| 吉川暢子  | 61 | 子どもの表現理解に関する親へのアプローチ<br>—新たな作品展の提案から—                                      |
| 米村耕平・森下純弘                                       | 69 | ゴール型ゲームの体育授業における学習成果につながる言語活動の検討<br>—セストボール教材を用いた体育授業の分析を通して—              |
| 大久保智生・鈴木修斗<br>木戸みどり・岡野美千代<br>吉田恵美子              | 79 | 学校外の組織化された活動における防犯教育の実践<br>—ガールスカウト、放課後児童クラブでの地域安全マップ作成活動の効果検証—            |
| 野崎武司  | 87 | 論文の修正：「令和の日本型学校教育」を支える教材研究論の構築にむけて [香川大学教育実践総合研究 45：33-39, 2022]           |

### ◆教職支援開発センター活動報告

香川大学教育学部

760-8522 高松市幸町1番1号

## 編集方針

「香川大学教育実践総合研究投稿要領」第2項の「香川大学教育実践総合研究（以下、「教育実践総合研究」という。）は、教科教育・教育臨床など広く教育実践に関する独創的な研究論文・実践報告、資料（研究ノート、研究動向の紹介など）及び香川大学教育学部附属教職支援開発センター（以下、「教職センター」という。）の活動報告などを掲載する」に基づき、「教育実践総合研究」は、以下の編集方針に基づくものとする。

1. 「教育実践総合研究」は「香川大学教育学部研究報告規程」に定める投稿者（原則として、教育学部教員とする。）による者のほか、香川大学教育実践総合研究編集会議（以下、「会議」という。）が特に依頼した者の原稿をもとに編集する。
2. 「教育実践総合研究」に、研究論文・実践報告、資料（研究ノート、研究動向の紹介など）及び教職センターの活動報告などの区分を設ける。
  - 1) 研究論文・実践報告は、教科教育・教育臨床などの広く教育実践に関する独創的な内容とする。
  - 2) 資料は、教育実践に関する記録、研究ノート、研究動向の展望、国内外の教育実践に関する最新の現況報告などの内容とする。
  - 3) 教職センターの活動報告は、事業報告、活動日誌などの内容とする。
  - 4) 会議が特に依頼した者の原稿は、上記の1)、2)及び3)のいずれかの内容とする。
3. 依頼論文等を含む投稿原稿の取り扱い会議において決定する。
4. 採録された原稿の掲載順は、掲載区分ごとに原稿の受付順とする。